

No.	025	—	1006	事務事業名	Jr. リーダー育成講座事業	細事務事業名		公的関与	1				
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度				
	総合計画	政策目標	第4章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	3 生涯学習社会の推進		主要施策	(1) 学び合い高めあう生涯学習の推進				
	事業の対象	東温市内の中学生				根拠法令							
	事業の目的	最終的	新し次代を切り拓く積極的な心を育て、次代の指導者として育成します。			今年度	体験学習を通し、仲間や地域の人々との連帯感を深め、一人ひとりの自己教育力の確立を目指します。						
	活動内容	①	主権者教育(開講式)。			④	乗馬体験、スキー・スノーボード他県。						
		②	防災講習会・キャンプ事前講習会。			⑤	郷土料理(もち麦うどん)講座(開講式)。						
		③	防災キャンプ。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標			
		講座参加者数		参加者の実数		人	目標	30	30	30	30		
					実績	12	12						
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育			費				
	直接事業費		平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	0 千円	386 千円	486 千円								
	計(A)	0 千円	386 千円	486 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.298 人	1,777 千円	0.298 人	1,792 千円	0.298 人	1,827 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.099 人	195 千円	0.100 人	199 千円					
	全体事業費(A+B)		1,777 千円	2,373 千円	2,512 千円								
一次評価者	社会教育係	総合評価点	C	必要性	2	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	学校や学年の枠を超えた中学生対象の年間を通した体験講座は、県内の他市町ではあまり事例がありません。学校ではできない体験をすることは、青少年の成長を助ける上、次世代のリーダーを育成する上で必要です。												
有効性	体験講座を通して、協調性、自主性を身につけるのに有効です。講座内容など、毎年見直していきます。												
達成度	参加者数がここ数年で目標の半数以下となっています。達成目標を参加者の人数とする以上、中学生が参加しやすい講座を開講する必要があります。また、講座名の変更や、各中学校と事前協議を行って部活動と実施日を重複させないなどの工夫が必要です。												
効率性	実費は参加者に負担させるのはもちろん、低予算で最大の効果を発揮できるよう企画に工夫を凝らして事業の実施をします。												
当面の課題	全員部活動制や授業数の増加により、受講生数が減少しています。一方で、教職員の働き方改革で、部活動について土日どちらかを休みとするケースが増えており、土日における居場所づくり対策としても機能していることも否めません。「Jr. リーダー」という言葉が多感な時期の生徒に気後れさせているという指摘もあります。												
改革計画	講座名の変更を含め、中学生が気軽に参加でき、受講できるような仕組み作りに取り組みます。また、出前講座やNPO法人等を活用できる講座を利用し、幅広い講座内容を検討します。さらに、担当職員のスキルアップのために、研修等に積極的に参加します。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	1	効率性	4	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	次世代のリーダー育成は、生涯学習にとって非常に重要な事業ですが、時代の変化とともに、中学生徒のニーズや嗜好も変化しています。現代にマッチした事業計画、更には募集方法や、事業のネーミングなども検討して下さい。												

No.	025	—	1019	事務事業名	文化協会育成事業	細事務事業名	文化協会育成事業	公的関与	1				
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第4章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	3 生涯学習社会の推進		主要施策	(1) 学び合い高めあう生涯学習の推進				
	事業の対象	東温市文化協会				根拠法令							
	事業の目的	最終的	地域文化の向上を図ります。			今年度	文化振興活動を補助します。						
	活動内容	①	東温市文化祭(重信会場・川内会)の開催。			④							
		②	各団体による文化振興活動。			⑤							
		③	各団体への活動助成金の交付。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標			
		団体数	組織の維持・拡大		団体	目標	65	65	65	—			
				実績	61	62							
会員数		組織の維持・拡大		人	目標	1,000	1,000	1,000	—				
					実績	910	918						
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育			費				
	直接事業費	平成 28 年度決算		平成 29 年度決算		平成 30 年度予算		備考					
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円						
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円						
		一般財源	1,710 千円		1,710 千円		1,710 千円						
	計(A)	1,710 千円		1,710 千円		1,710 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.058 人	346 千円	0.058 人	349 千円	0.058 人	356 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)	2,056 千円		2,059 千円		2,066 千円							
一次評価者	社会教育係	総合評価点	C	必要性	2	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	東温市文化協会が文化祭を主催するなど、地域文化の向上を図る活動を行っており、運営補助は必要と考えます。												
有効性	文化祭は盛大に行われており、文化協会の活動は地域文化の向上に寄与しています。												
達成度	会員の高齢化が進み、会員の減少が続いています。												
効率性	団体の規模に対して効率的な補助金額となっています。												
当面の課題	会員の高齢化と減少により、役員の負担が増加傾向にあります。												
改革計画	団体の存続及び地域文化向上のため、引き続き支援を続けます。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	1	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	ここ2年ほどは、加盟団体数、会員数ともに微増ではあるものの、以前に比べれば減少傾向であることや、協会幹部の高齢化が進んでいることから、組織体制の活性化を進めるよう助言して、更に活発な活動を行えるようにしてください。												

No.	025	—	1043	事務事業名	花いっぱい運動運営事務	細事務事業名	花いっぱい運動運営事務	公的関与	1				
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第4章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	3 生涯学習社会の推進		主要施策	(1) 学び合い高めあう生涯学習の推進				
	事業の対象	ボランティア参加者				根拠法令							
	事業の目的	最終的	分館や公共施設等が花いっぱいになるように、また分館でのボランティア参加者が増え分館の活性化を図ります。			今年度	全分館から参加を募ります。						
	活動内容	①	春と秋に中央公民館で花の苗のさい芽、種まきからポットに移植、定植をボランティアにより作業を行います。			④							
		②	花苗を各地区の公民館分館や学校、公共施設等に配布して市内の美観活動を行います。			⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標			
		ボランティア参加者		参加者延べ人数		人	目標 500	500	500	500			
					実績 278	332							
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育			費				
	直接事業費		平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	180 千円	180 千円	180 千円								
	計(A)	180 千円	180 千円	180 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.015 人	89 千円	0.015 人	90 千円	0.000 人	0 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.015 人	30 千円					
	全体事業費(A+B)		269 千円		270 千円		210 千円						
一次評価者	社会教育係	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	1	効率性	4	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	活動に市が関わり、学生のボランティア参加者に活動の意識を考えさせ、市民の美化への意識の向上を図ることができます。												
有効性	花苗を分館や学校に配布することで地域住民のコミュニティの場となっています。												
達成度	事業は天候に左右されますが、予定どおり実施できました。今後も社会教育団体等への協力を検討していく必要があります。												
効率性	花の苗は、種子から育ててコスト削減を図り、土づくりに工夫をしています。												
当面の課題	地域住民の参加者が低迷しており、募集、周知、実施方法を見直す必要があります。												
改訂計画	自治公民館活動の活性化に繋がることから、各分館及び学生ボランティアの参加者の確保に努めます。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	縮小
二次評価での指摘事項	公民館や分館などを花いっぱいにするにより、市全体のイメージアップが図られることから、今後も継続して実施する必要があります。ただし、参加者の大半が中学生ボランティア頼みという状況もあるため、一般市民の参加意識を喚起する方法を検討して下さい。												

No.	025	—	1064	事務事業名	公民館主催事業	細事務事業名	さくら講座開催事務	公的関与	1				
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第4章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	3 生涯学習社会の推進		主要施策	(1) 学び合い高めあう生涯学習の推進				
	事業の対象	市民				根拠法令	社会教育法、東温市公民館条例						
	事業の目的	最終的	市民の学習ニーズを把握し、学級講座を開催。学んだ成果を自分自身(市民)に活かしていただくとともに、地域社会にも還元できるよう努めます。				今年度						
	活動内容	①	着付け教室				④	星空教室					
		②	お菓子づくり教室				⑤	うどんづくり教室					
		③	気象教室										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標		
		講座参加者		参加人数			人	目標	100	100	100	100	
						実績	97	77					
						目標							
						実績							
						目標							
						実績							
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	教育				費		
	直接事業費		平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	124 千円	75 千円	106 千円								
	計(A)	124 千円	75 千円	106 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.015 人	89 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
		臨時職員工数・経費	0.004 人	8 千円	0.021 人	41 千円	0.021 人	42 千円					
	全体事業費(A+B)		221 千円	116 千円	148 千円								
一次評価者	社会教育係	総合評価点	D	必要性	3	有効性	1	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	市民ニーズを把握して、市民の身近な関心事を学級・講座にすることにより、市民が地域を見直し、よりよい地域社会づくりに寄与できます。												
有効性	事業がマンネリ化しており、市民ニーズを把握するとともに、魅力ある学級・講座となるよう検討する必要があります。												
達成度	引き続き、参加したいという参加者も多いですが、内容的にマンネリ化しており、参加者数も減少傾向にあります。												
効率性	講座内容によって、定員割れする講座もあり、講座内容の検討は必要です。												
当面の課題	市民の学習ニーズを把握し、学んだ成果を自分自身(市民)に活かしていただくとともに、地域社会にも還元できる講座内容の検討が必要です。												
改革計画	みんなで講座をつくり、みんなで学習をつくる、トップダウンの学習ではなく、ボトムアップの学習を実現するために、講座修了時に学習ニーズ把握のためのアンケートを実施します。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	D	必要性	3	有効性	3	達成度	2	効率性	2	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	一般市民を広く対象とした生涯学習らしい事業ではありますが、企画内容や募集にかかる周知などを工夫し、より多くの方に参加してもらえよう努めてください。												

No.	025	—	1065	事務事業名	婦人会育成事業	細事務事業名	婦人会育成事業	公的関与	9				
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	補助金・負担金・支援	事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度	期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第4章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	3 生涯学習社会の推進		主要施策	(1) 学び合い高めあう生涯学習の推進				
	事業の対象	東温市内の婦人会会員				根拠法令	社会教育法、東温市社会教育関係団体等補助金交付要綱等						
	事業の目的	最終的	婦人の資質向上と相互の交流融和を図るとともに、知性と地位向上に努め、明るい家庭づくり及び地域社会の発展に寄与することを目的にします。			今年度							
	活動内容	①	婦人の教養、地位及び文化を高める事業を実施します。			④	青少年の健全育成及び社会環境に関する事業を実施します。						
		②	家庭生活の向上及び健康の増進に関する事業を実施します。			⑤	社会福祉の増進に関する事業を実施します。						
		③	婦人相互の交流及び親睦を図る事業を実施します。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標			
		婦人会支部数		組織規模の維持拡大		支部数	目標 12	12	12	12			
婦人会会員数		組織規模の維持拡大		人	目標 200	200	200	200					
					実績 12	11							
					実績 203	182							
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育			費				
	直接事業費		平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	804 千円	737 千円	737 千円								
	計(A)	804 千円	737 千円	737 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.025 人	149 千円	0.119 人	715 千円	0.119 人	730 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		953 千円		1,452 千円		1,467 千円						
一次評価者	社会教育係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	地域社会づくりには、女性の力、特に地域でご活躍の女性の力が不可欠です。婦人会は地域コミュニケーションの要として、夢と希望のもてる地域社会づくりに貢献しており、婦人会の組織は必要です。												
有効性	社会環境の改善、三世代交流事業、福祉事業など、幅広く活動し、地域の人々が楽しく生活できる社会の実現に取り組んでいます。												
達成度	婦人会の高齢化が進み、活動可能な人の確保が課題ですが、青少年の健全育成や社会福祉の増進、社会環境整備など意欲的に取り組み、地域社会の発展に寄与しています。												
効率性	市や県からの補助金や委託金を有効に活用しながら、地域や各支部で円滑に婦人会活動が行われています。												
当面の課題	婦人会員の高齢化が進んでいるため、若い世代の加入が課題となっています。若い世代への参加の呼びかけや、交流行事の企画などの取組が必要です。												
改計画	PTAとの交流、共同企画事業が可能かなど、婦人会から積極的に若い世代へ呼びかけていきます。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	2	今後の方向性	縮小
二次評価での指摘事項	婦人会組織の高齢化の一因として、多様な社会参画機会の増加により、若い方の加入がほとんどないことも考えられます。組織そのもののありかたを見直す検討も必要です。												

No.	025	—	1077	事務事業名	各種講座開催事業	細事務事業名	地区婦人学級開催事業	公的関与	9				
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	補助金・負担金・支援	事業運営方法	全部委託	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度	期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第4章 心豊かに学びあう文化創造のまち	政策項目	3 生涯学習社会の推進	主要施策	(1) 学び合い高めあう生涯学習の推進						
	事業の対象	婦人会支部（会員）				根拠法令	社会教育法						
	事業の目的	最終的	地区婦人がお互いに連携し、婦人の資質の向上を図り、地域社会に貢献するためにもっとも適切な方法によって婦人学級を開催します。			今年度							
	活動内容	①	ぼかしづくり。			④	パンづくり。						
		②	花いっぱい活動。			⑤	交流クリスマス会。						
		③	ゴキブリ団子づくり。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標			
		婦人学級開催支部数		婦人会支部（12支部）で婦人学級開催支部数		支部数	目標 12	12	12	12			
					実績 8	8							
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育			費				
	直接事業費		平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	100 千円	100 千円	100 千円								
	計(A)	100 千円	100 千円	100 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.025 人	149 千円	0.025 人	150 千円	0.025 人	153 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		249 千円	250 千円	253 千円								
一次評価者	社会教育係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	婦人の資質向上を図り、婦人学級で学んだ成果を自分自身に生かし、地域社会にも還元しているため、婦人学級の必要性は高いと言えます。												
有効性	事業内容がマンネリ化しているという状況もありますが、花づくり、ぼかしづくりなど、地域の環境美化・環境改善に必要なことを実施しており、有効性が高いと言えます。												
達成度	婦人学級開催支部が毎年変わらず、地域に有用な活動が限定的となっており、婦人学級開催支部の拡充が望まれています。												
効率性	婦人学級は、地域社会に有用で多種多様な事業を安価に行えるため、非常に効率的であります。												
当面の課題	婦人会の支部が婦人学級を開催していますが、支部が限定的であり、東温市全体への拡充が必要です。												
改革計画	婦人会に婦人学級を委託している現状では、婦人会の支部を増やすしか方法がありません。婦人会にこだわらず、東温市全体で実施できる方法を検討します。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	2	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	事業の重要性は高いと思いますが、婦人会への委託では限界もあるように思われます。より多くの女性の参画を実現できるような方法を検討して下さい。												

No.	025	—	1079	事務事業名	各種講座開催事業	細事務事業名	東温カレッジ	公的関与	1				
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度				
	総合計画	政策目標	第4章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	3 生涯学習社会の推進		主要施策	(1) 学び合い高めあう生涯学習の推進				
	事業の対象	概ね50歳以上の市内在住者				根拠法令							
	事業の目的	最終的	現代社会において必要な知識や技能等を学習する機会を提供し、仲間づくりや生きがいをづくりに繋がります。			今年度							
	活動内容	①	健康講座。			④	スポーツ講座。						
		②	人権講座。			⑤	料理講座。						
		③	県外研修。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標			
		講座参加者		参加率		%	目標	—	50%	60%	70%		
					実績	—	43%						
					目標								
					実績								
					目標								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育			費				
	直接事業費		平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	0 千円	386 千円	486 千円								
	計(A)	0 千円	386 千円	486 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.099 人	195 千円	0.100 人	199 千円					
	全体事業費(A+B)		0 千円	581 千円	685 千円								
一次評価者	社会教育係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	参加者のニーズを把握して、講座を開催することにより、参加者が地域を見直し、よりよい地域社会づくりに寄与できます。												
有効性	知識や技能等を学習する機会となっています。												
達成度	マンネリ化しないよう、内容等を検討しています。												
効率性	講座内容によっては、参加率の低い講座があるため、内容の検討が必要です。												
当面の課題	参加者の学習ニーズを把握し、参加率を高められる内容の検討を行う必要があります。												
改訂計画	参加者にアンケートを取り、学習内容の検討を行います。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	当初の参加者募集に工夫を加えてより多くの参加者を集めることと、参加者ニーズを常にフィードバックして企画内容を随時変更するなど、事業の進め方そのものを検討して下さい。												